

# 最現代的思想

北基行 記

北京市西城区前海西街 郭沫若 旧宅門

## 最先端の思想

以前、バラバラ脚本をめぐっていると、曹操のような古代英雄を、現在の人物政治家や、革命指導者と同じように描写し、語り口も現在の政治用語そのものか、それに近い言葉でしゃべらせていた。また農民一揆を書いた別の脚本では、太平天国軍の乱を、まるで人民解放軍のように描き、その群衆と接する様子や掟、凜凜とした規律と態度は、人民解放軍を連想させ、用語はそっくりそのままというひどいものもあった。

この種の現象が、まずいことは言うまでもない。しかし、これが良いという人や、少なくとも悪くないという人もいる。

創作演劇の反歴史主義的傾向に対して、イエローカードが出されたことがあった。反歴史主義傾向として、当時批判されたのは、現代事情を無理やりに古代人に押し付け、舞台上の古人を通して、現在の革命論を語らせ、昔ありもしない事件をでっちあげ、現在人にお説教したことである。この傾向は反歴史主義として厳しく批判されたが、



フェルディナント・ラッサール

その余燼がまだあちこちにくすぶっているかのよう

だ。似たようなのを、なお見かけるが、まさか数年前

の反歴史主義傾向の残党か、残党の残党であるまい。

曹操や太平天国の乱を戯曲化するのに、ここまで脚本

をひねくりまわす必要があるのか？ だが、反対派

は、マルクス主義の原則に合致させるために、どうしても譲れないと、主張する。

マルクスがラッサールに宛てた手紙で、ラッサールが編集

した脚本『フランク・フォン・ジッテンゲン』について、“現代思想の表現には、最大限に純粋性を追求

すべきである”と語った。我々は演劇を通じて大衆を教育啓蒙するのであるから、この言葉は正しい。古代

の人物や故事に登場を願うのは、“古為今用”（古を今用と為す）であって、これは間違っていない。

しかし、マルクスは反歴史主義傾向を支持しているわけでない。いわんや反歴史主義を擁護するためにこのように述べたのではない、と彼は述べている。もしマルクスの幽霊がでてくると、立ち上がりざまに厳正に声を上げて怒るだろう。誰だろうが彼の話を曲解して、反歴史主義の護身符とすることを許しはしない。

“最先端の思想”とは、無産階級思想であり、戦闘的唯物思想、弁証唯物主義と歴史唯物主義の思想であることは明白だ。古代にこのような思想はなかった。にもかかわらず、古代人にこのような思想をむりやりに押し付け、舞台上で“最先端の思想”をしゃべらすことは、見逃すわけにはいかない。



カール・マルクス

マルクスが作者に要求していることは、革命的無産階級思想を以って歴史事件と歴史人物を分析し、最先端の思想の助けにより、脚本を書き、歴史事件と歴史人物を正確に表現して、人民群衆を教育すること、これがマルクスの本意であった。彼には、歴史の原型を維持することを要求し、現代風のスタイルで歴史事件と歴史人物を表現するつもりはなかった。この意思を無視してはならない。

【掲載当時の時代考証と秘められたメッセージ】

## 『最現代的思想』ひとそえ

アジア・アフリカ図書館（三鷹市）が所蔵する「郭沫若の千葉県市川市での亡命時代の資料」の紹介と「1945年10月～1946年8月に発行された邦字紙『改造日報』」に関するセミナーに参加した。

『改造日報』の発行人は国民政府軍 第三方面司令部総司令 湯恩伯、主編人は陸久之 第三方面軍少将参謀（蒋介石の女婿）。終戦直後の上海でなぜか日本語での新聞が発行されていた事実と残された原紙の一部がA・A図書館で発見され整理されたことの報告だった。

時代背景：1945年8月日本軍の無条件降伏⇒9月国民政府軍上海解放⇒10月国共両党「双十協定」締結⇒『改造日報』創刊（10/5）12月日本人の送還事業開始⇒1946年1月政治協商会議開催⇒4月日本人の引揚げ一段落⇒6月国共内戦始まる⇒『改造日報』終刊（8/?）講読対象：上海在住日本人居留民（日僑）約7万人、武装解除した日本軍将兵（日俘）約12万人。上海 26,500部、上海外 350部ブランケット判 日刊紙 主に表裏2ページ。単価十元と読める。以上レジュメに基づいた骨子のみを紹介する。



同時期の鄧拓は、晋察冀日报社社長兼主編であったが党校での学習、幹部審査運動に遇い政治審査を受けていた。

井上邦久

## 最現代的思想 原文

曾经看见一些剧本，当它们写到古代的英雄人物，比如写到曹操等等的时候，就好像在写现代的大政治家一样，甚至于就写成是一个革命领袖的样子，说的话也和现代的政治术语一样或者差不多。还有一些剧本写到农民起义，比如写到太平军起义等等的时候，又写成好象与现在的人民解放军一样，无论描写他们的纪律和联系群众的作风之类，都或多或少地套用了人民解放军的纪律和作风，甚至有许多术语也是生搬硬套的。

这种现象好不好呢？我看很不好。但是也有人认为这种现象是好的，至少是不算坏。

记得前几年，我们曾经反对过戏剧创作中的反历史主义倾向。当时所批评的反历史主义倾向，就是硬把现代的事情套在古人身上，要叫舞台上的古人，大讲现代的革命道理，做现代人所做的事情，向现代人说教。这种反历史主义的倾向虽然已经遭受严肃的批评，然而，它的残余影响实际上仍未完全消除。现时我们所遇见的上述现象，难道不正是前几年的反历史主义倾向的残余或者残余之残余吗？

无论关于曹操的剧本和关于太平军起义的剧本之类，不这样写是不是可以？有人说：不行。据称，只有这样写才符合马克思主义的原则。

原来马克思在给拉萨尔的一封信上，谈到拉萨尔编写《弗朗茨·封·吉庆歌》这部剧本的时候，曾经说过：“要在更大的程度上，把最现代的思想，表现在最纯粹的形式中。”这句话当然是完全正确的，因为我们要通过戏剧给人民群众以教育。写古代的人物故事，其目的是“古为今用”，这是毫无疑问的。

然而，马克思决不会支持反历史主义的倾向。他说这句话更不是为了支持反历史主义的倾向的。他如果死而有灵，知道有人曲解他的话，把它作为反历史主义的护身符，他一定要起来做严正的驳斥。

要弄清楚，所谓“最现代的思想”是指无产阶级的思想，即战斗的唯物主义的思想，也就是辩证唯物主义和历史唯物主义的思想。这种思想显然不是古代人所具有的。因此，根本不应该把这种思想强加于古代人，而让舞台上的古代人说出具有“最现代的思想”的话来。

那末，马克思的原意究竟是什么呢？他的意思显然是要求作者，用革命的无产阶级的思想去分析历史事件和历史人物，以这个最现代的思想为指导，来编写剧本，正确地表现历史事件和历史人物，用以教育人民群众。他的意思决不是叫历史事件和历史人物直接采取现代化的表现形式，而是要保持历史的原来形式。这个意思难道还会引起什么误解不成！